

ま な び や

日黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.50 2018年10月1日発行 発行人 関野祐二
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校 電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804
URL: <http://www.seikei-seminary.org/> E-mail: covenant-seminary@nifty.com

主の聖名を讃美いたします。

昨夜は、日本列島を縦断した台風の暴風で眠れぬ夜を過ごしました。明けて今日は台風一過の目に染みる青空。度重なる自然災害で今だ苦しむ方々のことを思うと、素直には喜べないのが実状です。先週水曜日でしたか、午前中に裏門から坂を下って出かけたなら、ほのかなキンモクセイの香り。その花が十字架の形をしている、と聞いたことがあります。十字架の香りが四方に。我が家の亀も食欲が少し落ち、季節は秋の深まりへと進んでいるようです。「シャロンの花 イエス君よ わが内に開き給え 良き香り麗しさを われに分かち与えつつ」(教会福音讃美歌55)。

校長 関野祐二

● 疲労困憊、前期終了

なんと8月第二週と第四週に補講があつて、純粋な(?)夏休みはわずか一週間。しかも女子寮トイレ改修工事やら(温水二基で大感謝されました)、所属教団のキャンプがあつたりで(実行委員長でした)、あつという間に休み明けとなりました。休み前から続いた猛暑、数々の災害でうつむきがちの9月でしたが、とうごまの木よろしくY r 部屋の前を覆うように育ったゴーヤーがたくさん実をつけたのは明るい話題。そうそう、9月4日は台風直撃を予想して臨時休校にしました(しっかり補講をするのでぬか喜び)。さて、残り一ヶ月の前期を神学生たちはなんとか乗り切って学期休みに入ったのですが、9月8日は後期履修届け締め切り日。掲示板前で、「先生、新約緒論と神学概論を両方履修するのはアリですか」と尋ねられ、思わず耳を疑いました。ハハア、さてはシゴキの免疫なき新入生のたわごとだな、と。しかし、その両方に丸が付けられた履修届けが複数提出されて二度びっくり。「準備をしたいので、早くシラバスを出してください」とのリクエストにお応えし、9月第三週にメール配信したら、翌日からなんとなく重苦しい空気が廊下に漂い始め、課題図書を購入希望者が次々に事務所へ。大丈夫、若気の至りで無茶も許されますよ。

● 遠ざかる火星を見送って

あれは火星大接近当日の7月31日火曜日午後、某神学校教師から「今日は火星観望会をやりませんか」との電話。当日だけ大接近するわけでもなく、週末に小学校で観望会をするので特に予定はしていなかったのですが、「ハイ、ご家族でぜひ来てください」と答えている自分がいました。1971年8月12日(5620万km)は小六の自由研究で連日の火星スケッチ、2003年8月27日(5576万km)は小学校グラウンドで四百人の観望会、今回はこれに続く5759万km(地球~火星の距離)の大接近ですから、乞われて気づく人生の一大事。滅多に出さない家宝の望遠鏡(筒の重さ25kg)を屋上にセットし、いつも苦労をかけたばなしの組織神学メンバーに罪滅ぼしのメール連絡をして、夜9時を待ちました。集まった20名ほどと、西に傾いた木星、南中した土星を堪能した後、いよいよ本命の火星へ。あれ、表面の様がよく見えません。なんと一ヶ月前から大砂嵐(力士の名前じゃないよ)が火星全面を覆っているのです。こん

なハブニングも一期一会ですね。目を凝らしてかすかに見える模様は、はるか昔、小学生の自分が小さな望遠鏡にかじりついてスケッチした形そのまま（記録帳は今もあります）。当時と圧倒的に違うのは、皆がスマホを接眼部に当てて写メを撮ろうとすることでしょうか。次は2035年9月11日（5690万km）。76歳じゃ、視力（死力）を尽くしても25kgは運べませんね。

● コーヒー談義花盛り

数年前、東京都郊外の神学校に特別講義で呼ばれた際、事務所の巨大なコーヒーマーカーにびっくり。足下に生豆の樽を見つけてさらにびっくり。なんと焙煎から全自動の機械なのでした。我が神学校にもコーヒー好きの教師が何人もいるので、日頃からお世話になっているお礼にと、まずはインスタントからドリップパック（一杯ずつ真空パックの豆をカップにセットし湯を注ぐタイプ）へと進歩。次のステップアップはこれも数年前、祐天寺駅近くに自家焙煎の豆専門店が出来たので（教師や近隣牧師に何人紹介したことか）、足繁く通って技術を磨き、コーヒポットに淹れて教師たちに振る舞っています。一番のコーヒー好きはギリシア語のA☆先生。テイスト評価が的確、銘柄だけで原産国をぴたりと当てます。次はIm先生（実は20年近くクラス皆勤記録更新中のスーパー教師）で、朝の授業前に淹れたてのポットを置いておくと、本当に嬉しそうに味わってくれます（さすが牧会カウンセリング教師！）。Y先生は断りなしに飲んでくれるので、銅メダルですかね。「教師を引退したらカフェのマスターになったら？」とお世辞を言われると、まんざらでもないので心くすぐられます。地域向けカフェ設置の教会も増えているようですよ。

● オープンキャンパスとルカ文書セミナー

学期休みもなんと補講が三つ（どんな神学校だ？）。スタッフリトリート（校長夫婦と霊性Y先生、そして新人Yr先生によるビジョントリップ）と、続いての学生会リトリートで赤城バイブルキャンプ住み込みP宣教師夫妻のお世話になって後、後期授業は10月8日開始（祝日無関係のブラックマンデー）。ペースをつかみかける頃の10月27日土曜日が、恒例の「献身者の集い」、通称オープンキャンパスです。公開授業にシゴキ系と癒やし系を組み合わせるのは例年通り。在校生によるホンネの証しが楽しみな歓迎昼食会の後、午後の特別講演会は、Yr先生にご登壇願います（こき使い過ぎ？）。今年度、後期は土曜日にクラスがないので、この講演会を「ルカ文書セミナー」初回（この日だけ無料）とし、11月10日土曜日の第2回以降、来年1月26日の第6回まで続く特別セミナーの呼び水とする算段。ルカ文書（ルカ福音書と使徒の働き）を専門とする新約学者の講演（といっても分かりやすい内容。新約通論クラスがそうですから）にご期待ください。詳しくは別紙を。もちろん学校見学も出来ますよ。男子寮は、掃除の行き届いた部屋（掃除が趣味の寮生あり）、女子寮はうわさのピカピカトイレが自慢。おっと、明るく元気な（そして多分優秀な！？）神学生が一番の自慢ですけどね。ついでに校長のお宝も自慢しましょうか。

● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 在校生81名、教職員16名の後期学びが支えられるように。オープンキャンパスとルカ文書セミナー、年明けの霊性セミナーに多くの方々をお迎えすることが出来るように。
- ・ 本校が他校や諸教会、超教派諸団体、JEAや福音主義神学会と協力しながら、福音主義キリスト教界の健全な神学研究と交流、情報発信、出版など良き働きを続けられるように。